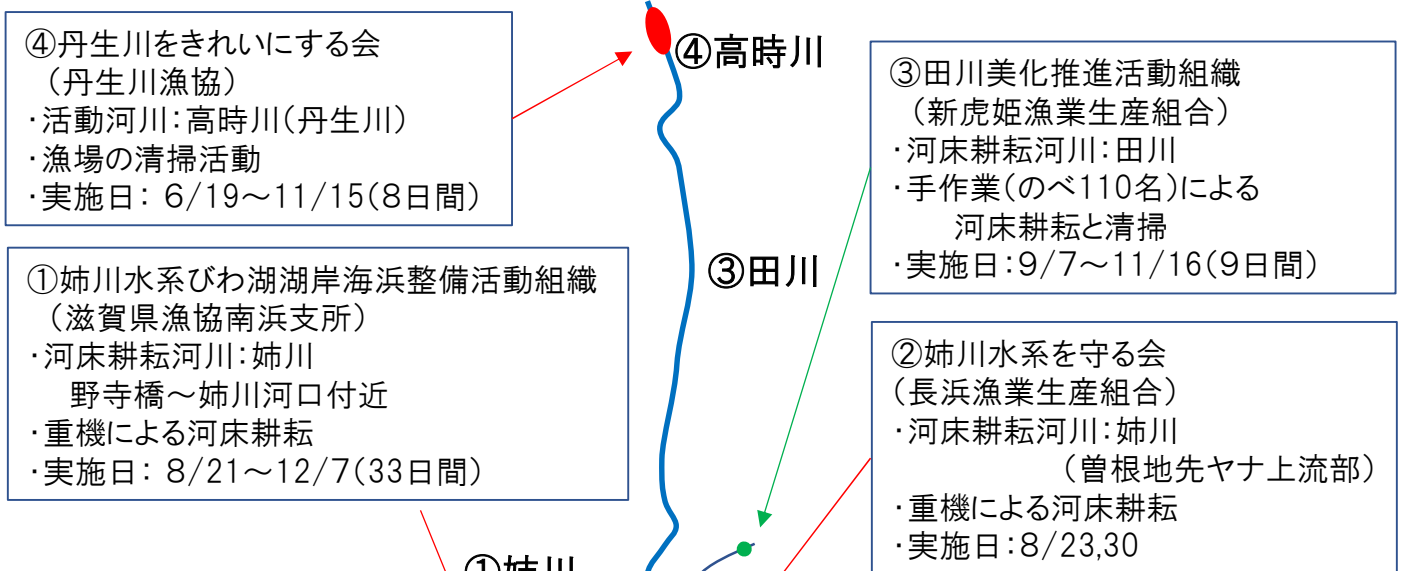


中下流域での河床耕耘等の実施状況(令和7年度)

○中下流部のアユ産卵場となる区域を中心に、漁場環境改善のため、漁業者が中心となって漁場の清掃活動や河床耕耘を実施(水産多面的機能発揮対策事業:国と県による補助事業)。



○姉川の湯水状況

(R7年9月24日 南浜やな付近)



(R7年10月1日 野寺橋付近)

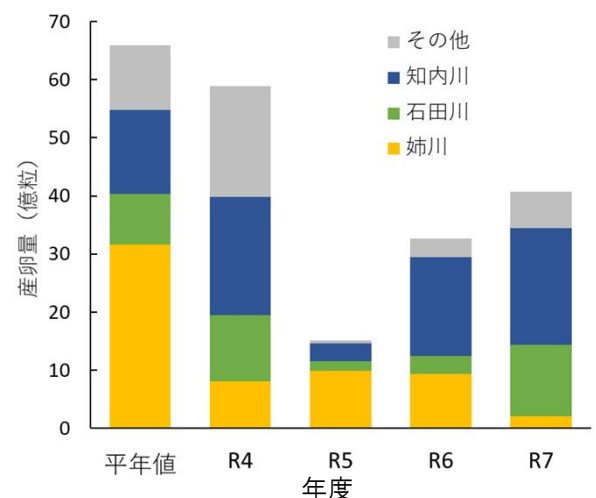


(R7年10月14日 高時川合流付近)



○天然河川でのアユ産卵量

- ・今年度は琵琶湖流入河川全体で40.7億粒の産卵を確認(平年比61.8%)
- ・このうち、姉川では2.1億粒の産卵が確認されたが、全体の約5%に留まった。
- ・河川水温の上昇に加え、9月下旬はほぼ湯水状態となっていた。



天然河川でのアユ産卵量

より効果が発揮できるよう耕耘場所や方法について検討しながら、来年度以降も必要な支援を継続していく。